

中山間地域における過疎化・高齢化は深刻さを増してきています。中部圏においても例外ではなく、その対策が求められています。

当財団では2019年度より、まちづくり・地域振興等の有識者による「中山間地域におけるまちづくり研究会」（座長：戸田 敏行 愛知大学地域政策学部教授・三遠南信地域連携研究センター長）を設置し、「中山間地域の産業振興を核としたまちづくりに関する調査研究」を始めました。

第2回研究会（2019年10月22日開催）では、愛知県北設楽郡東栄町および近隣地域を訪ね、当地で採掘されたセリサイトを活用した『ビューティーツーリズム<sup>(※1)</sup>』の事例等について、視察・ヒアリング調査を実施いたしましたので、以下のとおり、報告いたします。

## 『中山間地域におけるまちづくり研究会』事例調査について

### ～愛知県東栄町および近隣地域の現地視察～

公益財団法人中部圏社会経済研究所企画調査部部长 石橋 厚一

#### 1. はじめに ～東栄町の現状～

##### (1) 東栄町の概要

愛知県北設楽郡東栄町は、愛知県の北東部、奥三河と呼ばれる東三河の山間部に位置し、町域の約90%を山林・原野で占めている。

明治以降、東三河を南北に貫く別所街道（現国道151号）が大幅に改修されたことにより、軍用の馬、養蚕、木材の産地として、昭和30（1955）年代まで栄えていた。人口で見ると、1950年には12,000人を超えていた（当財団推計<sup>(※2)</sup>）人口が、以降減少の一途をたどり、2019年1月1日現在3,214

人（住民基本台帳）まで減少している。（表1、表2）

国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」によると、2045年には2015年比▲54%の1,579人という推計結果になっている。（表2）



表1) 東栄町の面積・人口・世帯数・人口動態

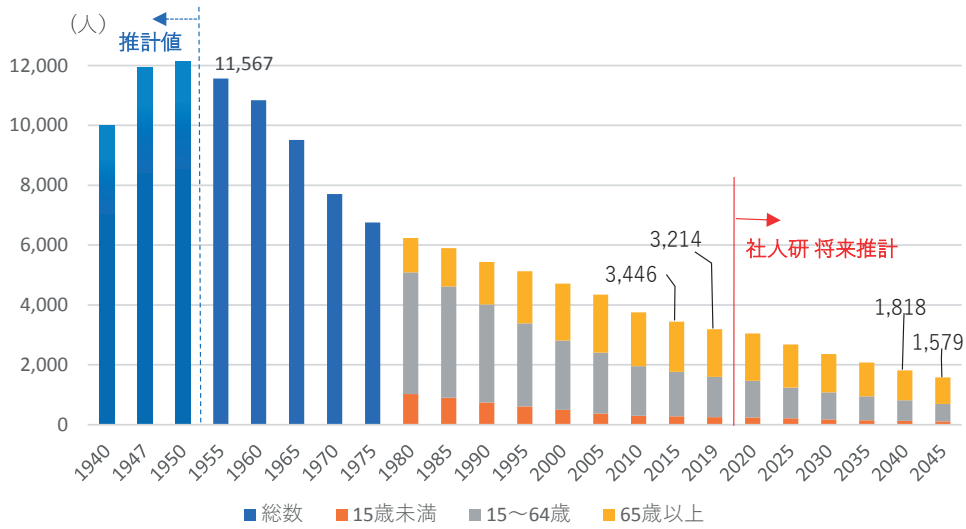
		県内順位
面積	123.38 km <sup>2</sup>	11/54
人口	3,214 人	53/54
男	1,524 人	
女	1,690 人	
対前年増減数	▲ 78 人	
対前年増減率	▲ 2.37 %	53/54
世帯数	1,469 世帯	
転入者数	72 人	
転出者数	95 人	
社会増減率	▲ 0.79 %	53/54
出生者数	17 人	
死亡者数	69 人	
自然増減率	▲ 1.58 %	52/54

出典) 住民基本台帳（人口、世帯数は2019/1/1現在、人口動態は2018/1/1～12/31）

(※1) 「ビューティーツーリズム<sup>®</sup>」は東栄町の登録商標

(※2) 東栄町は1955年に北設楽郡本郷町、下川村、御殿村、園村が合併して誕生し、その翌年（1956年）に振草村の一部と三輪村の一部を編入して現在の町域となっている。1960年の国勢調査資料には、合併後の境界による1955年の人口（11,567人）が示されている。

表 2) 東栄町の人口推移



出典) 国勢調査 (1955~2015)・住民基本台帳 (2019)・国勢調査を基にした推計値 (1940~1950)  
 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口 (2018年推計)」(2020~2045)

(2) 「地域力指標」からみた東栄町

当財団では、全国の1,741の全基礎自治体を対象とし、人口変動との関係で地域の貨幣価値と非貨幣価値の双方から自治体の魅力を評価した「地域力フロー指標」と、地域経済の循環を支える側と支えられる側の人数構成から自治体の持続可能性を評価する「地域力ストック指標」からなる「地域力指標」を開発した。(2019年6月25日公表。詳細は、調査季報VOL.209 (2019年12月発行)を参照。)

①地域力フロー指標

地域力フロー指標は、117種類の統計データに

機械学習 (AI) の手法を応用し、推計されたパラメータによりウェイト付けして総合化することで自治体の魅力を試算したものである。推計の結果、117種類のデータのうち、人口移動の観点から自治体の魅力を示す指標は、「生活基盤」「教育」「コミュニティ」「住民・福祉」「女性の活躍」の5分野17指標が選択され、分野ごとの指標とウェイトは表3のとおりである。

東栄町の試算結果は表4のとおりであり、愛知県内順位は54自治体中53位、全国順位は、1,732自治体中1,591位となっている。特に、貨幣価値

表 3) 地域力フロー指標に選択された指標とウェイト

生活基盤		
納税義務者一人当たり課税対象所得	(2人以上世帯)一世帯当たり年取	事務所新設率
可住地面積1ha当たり他に分類されない飲食料点小売業の事業所数		一人当たり労働費 (市区町村財政) 5年変化
教育		
平均修学年数	一人当たり学習塾従事者数	一人当たり (15歳未満) 教育費 (市区町村財政) 5年変化
		一人当たり教養技能教授業の従事者数
コミュニティ		
未婚率 5年変化	自殺率	一人当たり建物出火件数
住民・福祉		
一人当たり行政職員数	一人当たり児童福祉費 (市区町村財政)	一人当たり (65歳以上) 老人福祉費 (市区町村財政) 5年変化
女性の活躍		
女性就業率	一人当たり (5歳以下) 保育所等数 5年変化	

(注) 赤字の指標はマイナス寄与

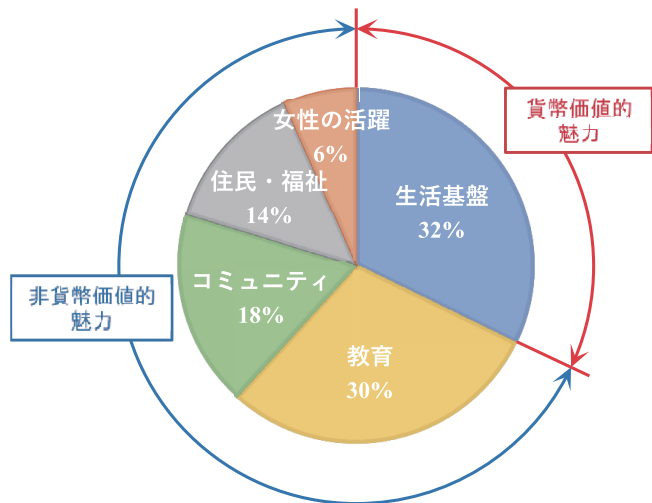


表4) 地域力フロー指標 (愛知県下抜粋)

順位		自治体	総得点
愛知県	全国		
1	39	長久手市	72.29
4	73	名古屋市	68.08
20	257	豊田市	58.81
27	285	豊橋市	58.07
41	454	田原市	54.57
50	643	新城市	51.68
51	1336	設楽町	43.25
53	1591	東栄町	38.43
54	1725	豊根村	27.28

出典) 総務省「市町村税課税状況等の調」(2018年度)

表5) 納税義務者一人当たり課税対象所得 (2018年度)

順位		自治体	課税対象所得 /所得割の納税義務者数
愛知県	全国		
1	29	長久手市	4,278,784
5	48	名古屋市	4,017,758
8	75	豊田市	3,780,587
26	196	豊橋市	3,386,253
39	292	田原市	3,228,927
51	716	新城市	2,871,554
52	964	設楽町	2,745,125
53	1093	豊根村	2,668,639
54	1416	東栄町	2,509,973

的魅力の「生活基盤」指標である「納税義務者一人当たり課税対象所得」は表5のとおり愛知県内最下位である。また、東栄町以外の奥三河の自治体の指標値は総じて低位となっている。

②地域カストック指標

地域カストック指標は、自治体の持続可能性の観点から、「一人の高齢非就業者を年齢や性別に関わらず何人の就業者が支えているか」を表すものである。(なお当財団では、地域カストック指

標が2.5を上回れば持続可能、1.5以上2.5未満であれば準持続可能、1.5未満であれば持続不可能な自治体と定義している。)

東栄町の試算結果は表6のとおりであり、2015年断面の愛知県内順位は54自治体中54位、全国順位は、1,682自治体中1,632位となっている。この結果は、高齢者比率が高い(表7)うえに、耕作適地に恵まれないため高齢者が比較的働きやすい第1次産業の就業者数が少ない(表8)ことによるものと考えられる。なお、地域力フロー指標同

表6) 地域カストック指標 (愛知県下抜粋)

順位(2015断面)		自治体	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045
愛知県	全国								
1	15	長久手市	4.31	3.78	3.47	3.15	2.82	2.44	2.15
2	20	田原市	4.00	3.54	3.20	2.91	2.67	2.47	2.33
13	72	豊田市	3.18	2.73	2.51	2.34	2.17	1.98	1.84
18	155	豊橋市	2.89	2.54	2.33	2.17	2.03	1.86	1.74
30	289	名古屋市	2.62	2.39	2.28	2.16	2.02	1.84	1.71
48	677	新城市	2.22	1.89	1.66	1.49	1.36	1.26	1.19
52	1488	設楽町	1.50	1.36	1.26	1.16	1.08	1.04	1.03
53	1584	豊根村	1.35	1.21	1.10	0.98	0.88	0.82	0.82
54	1632	東栄町	1.22	1.12	1.03	0.98	0.94	0.92	0.92

表7) 高齢者人口比率

	2015				2045				参考)総人口指数 (2015年=100) 愛知県内順位	
	65歳以上		75歳以上		65歳以上		75歳以上			
	%	愛知県内順位	%	愛知県内順位	%	愛知県内順位	%	愛知県内順位		
長久手市	15.5	1	6.4	1	26.5	1	13.7	2	122.7	1
田原市	25.7	39	12.9	44	38.7	43	23.5	44	76.6	44
豊田市	20.8	9	8.4	5	30.6	14	17.1	18	94.6	22
豊橋市	24.1	24	11.0	30	34.5	31	19.9	35	86.5	33
名古屋市	24.2	25	11.5	36	32.9	23	18.6	26	94.7	21
新城市	32.8	50	17.2	50	48.3	49	31.3	49	63.3	49
設楽町	47.4	52	29.3	52	55.9	53	39.6	53	45.5	53
豊根村	48.5	53	31.4	54	62.2	54	45.5	54	40.1	54
東栄町	48.8	54	30.8	53	55.8	52	38.3	52	45.8	52

出典) 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口 (2018年推計)」

表8) 15歳以上労働力率と産業3部門別就業者割合

	15歳以上労働力率	第1次産業 就業者の割合			第2次産業 就業者の割合	第3次産業 就業者の割合	
		農業	林業	漁業			
長久手市	65.1	0.8	( 0.8)	( - )	( 0.0)	23.7	75.5
田原市	71.4	30.8	(29.5)	( 0.0)	( 1.3)	28.1	41.1
豊田市	64.2	2.0	( 1.8)	( 0.1)	( 0.0)	47.3	50.7
豊橋市	63.5	5.6	( 5.6)	( 0.0)	( 0.0)	35.4	59.0
名古屋市	62.5	0.3	( 0.3)	( 0.0)	( 0.0)	24.6	75.1
新城市	61.0	8.6	( 8.1)	( 0.5)	( 0.0)	37.9	53.5
設楽町	54.8	21.6	(18.7)	( 2.4)	( 0.5)	21.3	57.1
豊根村	53.9	13.4	( 8.1)	( 4.8)	( 0.5)	26.4	60.3
東栄町	50.7	8.4	( 5.3)	( 2.9)	( 0.2)	29.5	62.2

出典) 国勢調査 (2015)

様、地域カストック指標についても東栄町以外の奥三河の自治体の指標値は総じて低位となっている。

(3) 国勢調査における社会増減

表2で見たとおり、東栄町の人口は年々減少の一途をたどっているが、2015年に実施された国勢調査の移動人口集計において、東栄町は、転入351人、転出294人で、「転入超過」となった。内訳を地域別で見ると豊川市・新城市への転出が多いが、関東や九州、国外からの転入が目立つ(表9参照)。

また、年齢別・性別では若年層(15~24歳)や後期高齢者の転出が男女とも多くなっているが、働き盛り世代である25~34歳、35~44歳といった年齢層で、転入超過が見受けられ、特に男性の転入が多くなっている(表10参照)。

表9) 東栄町の転入・転出者(地域別)

	転入	転出	転入-転出
北海道・東北	3	1	2
関 東	31	14	17
東京都	(9)	(7)	(2)
北 陸	8	3	5
長 野 県	1	1	0
岐 阜 県	7	3	4
静 岡 県	23	24	▲ 1
浜松市	(16)	(20)	(▲ 4)
愛 知 県	216	236	▲ 20
名古屋市	(30)	(22)	(8)
尾 張	(29)	(38)	(▲ 9)
西三河	(37)	(28)	(9)
豊橋市	(32)	(32)	(0)
豊川市	(18)	(40)	(▲ 22)
新城市	(22)	(56)	(▲ 34)
田原市	(4)	(2)	(2)
設楽町	(13)	(8)	(5)
豊根村	(31)	(10)	(21)
三 重 県	6	4	2
近 畿	13	6	7
中国・四国	12	2	10
九 州	18		18
国 外	13		13
計	351	294	57

出典) 国勢調査 (2015)

表10) 東栄町の転入・転出者(年齢別・性別)

	総数				男				女			
	転入	転出	社会増減	転入	転出	社会増減	転入	転出	社会増減			
0~14歳	279 (8.1%)	47 (13.4%)	20 (6.8%)	27	152 (9.3%)	26 (13.5%)	7 (5.3%)	19	127 (7.0%)	21 (13.2%)	13 (8.0%)	8
15~24歳	148 (4.3%)	17 (4.8%)	85 (28.9%)	▲ 68	75 (4.6%)	9 (4.7%)	39 (29.8%)	▲ 30	73 (4.0%)	8 (5.0%)	46 (28.2%)	▲ 38
25~34歳	192 (5.6%)	74 (21.1%)	50 (17.0%)	24	102 (6.3%)	37 (19.3%)	27 (20.6%)	10	90 (5.0%)	37 (23.3%)	23 (14.1%)	14
35~44歳	280 (8.1%)	79 (22.5%)	33 (11.2%)	46	152 (9.3%)	50 (26.0%)	17 (13.0%)	33	128 (7.1%)	29 (18.2%)	16 (9.8%)	13
45~54歳	329 (9.5%)	33 (9.4%)	13 (4.4%)	20	173 (10.6%)	22 (11.5%)	5 (3.8%)	17	156 (8.6%)	11 (6.9%)	8 (4.9%)	3
55~64歳	538 (15.6%)	46 (13.1%)	15 (5.1%)	31	277 (17.0%)	27 (14.1%)	7 (5.3%)	20	261 (14.4%)	19 (11.9%)	8 (4.9%)	11
65~74歳	617 (17.9%)	21 (6.0%)	13 (4.4%)	8	308 (18.9%)	16 (8.3%)	10 (7.6%)	6	309 (17.0%)	5 (3.1%)	3 (1.8%)	2
75歳以上	1,063 (30.8%)	34 (9.7%)	65 (22.1%)	▲ 31	393 (24.1%)	5 (2.6%)	19 (14.5%)	▲ 14	670 (36.9%)	29 (18.2%)	46 (28.2%)	▲ 17
計	3,446 (100.0%)	351 (100.0%)	294 (100.0%)	57	1,632 (100.0%)	192 (100.0%)	131 (100.0%)	61	1,814 (100.0%)	159 (100.0%)	163 (100.0%)	▲ 4

出典) 国勢調査 (2015)

この社会増には、従来の「地域力指標」では説明できない魅力や社会的な仕組みが東栄町にあることを示している。この結果は、全国的にも注目され、2018年3月に取りまとめられた総務省『「田園回帰」に関する調査研究報告書』において、東栄町が全国3か所の現地ヒアリング調査のうち1つに選ばれている。報告書において、東栄町の移住定住施策および移住者が地域に受け入れら

れる環境づくり等の取り組み、元地域おこし協力隊が運営するゲストハウスにおける居住体験が移住に繋がっていること、移住者同士のネットワークが形成されていること、移住者がつくった仕事により移住者を呼ぶ流れができていていることなどが高く評価されている。次章では、こうした社会増とも関連性の深い東栄町と近隣地域のまちおこしの新たな動きについて概観したい。

## 2. 東栄町および近隣地域でのまちおこしの新たな動き ～新しいビジネスモデルの模索～

### (1) 日本で唯一採掘されるセリサイト（東栄町）

東栄町振草地区にある三信鉱工株式会社（代表取締役 三崎 順一 氏、以下、「三信鉱工」）の鉱山で、日本で唯一セリサイト（絹雲母=白雲母の中でも細かい<sup>りんぺん</sup>鱗片状の結晶のもの）という白い粘土状の鉱物が採掘されている。この白い粘土状の鉱物を乾燥させ、精製すると細かいパウダーになり、主にファンデーションの原料となる。ここで産出されるセリサイトは、海外の原鉱石と比べ良質で白さが際立っており、また高い技術力により精製され、世界最高品質を有していることから、日本だけでなく海外の大手化粧品メーカーで使われている。ファンデーション材料には、従来か

らタルク（滑石）が使用されており、1960年代に三信鉱工の先代社長が化粧品会社にセリサイトを持ち込み、徐々に需要が広まっていったという。製品に透明感や滑らかさを出す際には欠かせない材料となっている。

セリサイトの採掘は、1946年から行われており、粘土鉱物ということと鉱床が大きいことから、露天掘りではなく、坑道を使用し「手作業」で採掘が行われている。坑道内にレールが敷かれ、手押しの特ロッコが使われているのは、日本では希少な存在である。

三信鉱工 現社長の三崎順一氏は、Iターンで

### <三信鉱工 坑道>



(原鉱石)



(日向坑入口にて) 右から3番目が三崎社長

田舎に興味を持って東栄町に移住してもなかなか定着しないことに憂慮され、まずは交流人口を増やすことから始めたいと考え、自社の世界的にも希少なセリサイトを活用した手作りコスメ体験と鉱山見学のツアーを、東栄町地域おこし協力隊（当時）の大岡千紘氏と協力し、2015年から、

「naori（なおり）<sup>(※3)</sup>事業」、「ビューティーツーリズム<sup>®</sup>」として始められている。（「なおり」は鉱山用語で、鉱脈の特に品位が高いところを指し、鉱脈が交差する部分に形成されていることが多いことから、人と人との交流の意味もかけているとのこと。）

（2）naori事業（のき山学校）（東栄町）

廃校になった旧東栄町立東部小学校の校舎を活用し設置した「東栄町体験交流館のき山学校」の教室を利用し、東栄町観光まちづくり協会の一事業として、naori事業は実施されている。事業立ち上げに貢献された地域おこし協力隊だった大岡氏は任期満了後も東栄町に残り、東栄町観光まちづくり協会の職員としてnaori事業に携わっている。また、現地域おこし協力隊はnaori事業のスタッフとして募集が行われ、もともと無添加せっけん等に興味を持たれていた東京出身の福田美幸氏が従事・参画されている。

naori事業は、ミネラルファンデーション作り体験がメインで、そのほかボディパウダー、リップクリーム、ハンドクリーム、バスボム等の手作

り体験ができる。セリサイト採掘鉱山見学付きのコースは三信鉱工 三崎社長の案内で月1回土曜日に設定されている。新聞・雑誌掲載やTV放映などにより、かなり予約が取りにくい状況となっているようである。事業開始初年度の2015年には体験者数は300人程であったが、2018年は1,400人余で40・50代の女性を中心にリピーターも増えているという。

セリサイト以外にも、バスボムには「とうえい温泉」のお湯や東栄町産のハーブやお茶、リップクリームには東栄町産のはちみつを入れるなど、「美の地産地消」と呼んで東栄町産の素材をコスメと結び付けている。

<naori事業>



ミネラルファンデーション作り体験

東栄町で採れたセリサイトを買い、肌触りなめらかで透明感のあるミネラルファンデーションを手作りします。

- 場所：のき山学校（愛知県北設楽郡東栄町大字下野野山13-7）
- 日程：毎日（※水曜日は休）土曜日は1名から参加できます。
- 時間：10:30—12:00 / 13:30—15:00（開始10分前から受付）
- 定員：20名（定員に達し次第、締め切らせていただきます）
- 料金：3,000円（税別）
- 予約：Tel.0536-76-1780（9:00—17:00受付）※要予約
- Email:naori.toei@gmail.com（随時受付）
- 申込：3日前までに予約をお願いします。（※田舎センター利用）
- 内容：①素材講座20分→②実習60分→③使い方講座10分



※1 備忘録で作ったファンデーションは持ち帰りいただけます。パウダータイプのもので、化粧ノリが良いと好評です。  
 ※2 毎月必ず土曜日は必ず予約。東栄町の登録とセットで実施しております。  
 ※3 ファンデーションの体験は東栄町センター（※500円）（税別）※ファンデーション作り体験のみの参加も可能ですが、鉱山見学のみの参加は不可とさせていただきます。

東栄町コミュニティセンターのQRコード  
 公民館5555「naoriなおり」へアクセス



（バスボム作りを体験）

（※3）「naori（なおり）」は東栄町の登録商標

<登録商標>

「naori（なおり）®」「ビューティーツーリズム®」は2017年8月に東栄町が商標を出願し、2018年5月に登録されている。「ビューティー」＝「美」には、コスメだけではなく、祭り、自然、食、スポーツ等すべてが含まれるという。特に、2017年「第20回清流めぐり利き鮎会」でグランプリを受賞した振草川の鮎や、東栄町で飼育されている錦爽鶏<sup>きんそうどり</sup>、山菜、ハーブといった「食」に関するところを深めていきたいとのことである。

〔商標登録内容〕

naori（なおり）（登録6040684号）

第3類（化粧品、せっけん類）

第41類（自然体験活動に関するイベントの企画・運営又は開催、自然体験活動指導者の養成、体験学習を中心としたセミナーの企画・運営又は開催、体験学習を中心とした研修の企画・運営又は開催、地産地消を目的とした農産物生産者の見学会・講座・研究会・講習会の企画・運営又は開催、せっけん又は化粧品作りの体験行事の企画・運営又は開催、せっけん又は化粧品作りの講座・研究会・講習会の企画・運営又は開催）

ビューティーツーリズム（登録6040687号）

第39類（企画旅行の実施、主催旅行の実施、主催旅行の手配及び予約、旅行者の案内、旅行情報（宿泊に関するものを除く。）の提供、旅行に関する契約（宿泊に関するものを除く。）の代理・媒介又は取次ぎ、インターネット家湯での観光旅行に関する情報の提供、バスによる観光旅行の実施、外国人観光客に対する旅行（宿泊に関するものを除く。）に関する情報の提供、観光業務及びこれに関する情報の提供、観光地・観光施設に関する旅行情報の提供、観光旅行の分野でのオンラインによる情報及び予約の提供、産業観光に関する情報の提供、自然観光に関するツアーの企画・運営又は開催に関する情報の提供）

<『okumikawAwake／メザメ奥三河』への参画>

『okumikawAwake／メザメ奥三河』とは、日本版DMO候補法人でもある（一社）奥三河観光協議会の奥三河4市町村における取り組みで、naori（なおり）も参画事業者としてメンバーに

入っている（2019年6月現在全8事業者）。ミレニウム世代を訴求対象として「ビューティーツーリズム®」の趣旨のもとに共同販促活動を行っていくとしている。

（3）奥三河蒸留所（新城市：旧鳳来町）

奥三河蒸留所は、安城市の株式会社ランド（代表取締役社長 阿部 晃 氏）が、顧客の求めに応じ、自社でヒノキオイルの抽出をするため、愛知県内で一番抽出に適していた奥三河のヒノキの葉の産地に近いことから開設された。開設にあたって新城市から観光も可能な施設にして欲しいとの要請があり、体験施設や、自転車・トレイル等のスポーツツーリズムに対応できるよう食事もでき

るカフェも併設されている。

蒸留所では、ヒノキのほか、ゆずや三ヶ日のミカンなどさまざまなものを蒸留されており、そのうち製品化されているものは8種類程度とのことである。特にゆずは、旧富山村で収穫されていなかったゆずを、「ゆずプロジェクト」として収穫ボランティアを200名ほど募り、交流人口の増加、地元への理解促進にも一役買われている。

<奥三河蒸留所>



（併設されているカフェ）

蒸留所が見学できるほか、クラフト体験・蒸留体験もできる。

アクセス：新東名新城ICから15分。三遠南信鳳来峡ICから7分。JR飯田線湯谷温泉駅徒歩15分。

また、阿部社長は、奥三河の森林産業を構築していきたい、地元貢献していきたい、との思いを持たれており、現在輸入に頼っているものを国

産化すること等により産業をつくることで、地元で活力をつけ、人口減少に歯止めをかけたいと意気込まれている。

#### (4) フォレストアドベンチャー・新城（新城市）

フォレストアドベンチャー・新城は、愛知県営新城総合公園の民間活力事業の公募に応じたエバイス株式会社（本社：名古屋市，代表取締役 杉浦 正明 氏）によって、2018年3月にオープンしており、2018年は三河地方の方を中心に17,000人ほどの来場者があったとのことである。

フォレストアドベンチャーは、もともとはフランスの発祥で、木の上での危機管理、リーダーシップ、チーム理論等を養う企業研修施設として作られたものであるが、13年前に日本に入ってきたときに遊びの要素が加わり『自然共生型アウトドアパーク』として運営されている。そのため、土日祝は一般の方がほとんどだが、平日は校外学習や企業研修での需要もあるという。全国で32か所あり、そのうち3分の1ほどが株式会社フォレストアドベンチャー（本社：山梨県）によって直営で運営されており、新城も含め残りのパークはフランチャイズで運営されている。至近では、2019年

3月に三重県の菰野町に「フォレストアドベンチャー・湯の山」がオープンしたが、湯の山でフォレストアドベンチャーに好印象を持たれた方が新城にも来場され、相乗効果になっているという。

エバイスの杉浦社長は、現在は身長140cm以上または小学4年生以上しか利用できないが、公募区域の未利用地を活用して、低学年向けや未就学児向けのパークを新設していきたいとの思いを持たれている。また、県営公園ということもあり、年配者の方もウォーキングをされていたりするので、年配者の方にも楽しんでもらえるパークにしていきたいとのことである。（2020年2月22日、身長110cm以上の児童も体験できる「モバイルコース」がオープン。）

フォレストアドベンチャー・新城、奥三河蒸留所、はづグループ（湯谷温泉）でコラボレーションし、奥三河の体験・リラクゼーション観光としてPRされている。

#### <フォレストアドベンチャー・新城>



アドベンチャーコースは全5コース。豊かな森の中で100mを超えるジップスライドも楽しめる。  
（利用料金：3,800円/人）

アクセス：新東名新城ICより車で7分。JR飯田線大海駅より徒歩10分。



### 3. おわりに

東栄町は、総合戦略・総合計画において2040年の人口を国立社会保障・人口問題研究所の推計1,818人に対し、2,300人以上の確保を掲げている。当財団「地域力指標」の分析結果からは、人を惹きつける魅力づくりの継続的な取り組みと、高齢者の就業も含めた労働力人口の確保に努め、奥三河の他の自治体と広域連携をさらに強化し、地域一帯で自治体の持続可能性を高める取り組みが必要であると考えられる。研究会では、今後東栄町のまちづくり・移住施策や「ビューティーツーリズム®」等の新たな展開、および奥三河蒸留所、フォレストアドベンチャー・新城といった周辺施設の動向や愛知県・関係自治体・関係団体等の施策・取り組みも踏まえ、適宜現地調査等も加えて、東栄町の地域力指標で選択された諸データでは測れない移住者を引き付ける魅力を探るとともに、ライフスタイルモデルの変革、人と人のつながりやコンテンツ間の融合にも着目しながら、大都市圏の近傍に位置する中山間地域の産業振興やまちづくりについて調査・研究を進めていくこととしたい。

#### 表紙写真の説明

#### 鬼の面をモチーフとしたJR飯田線 東栄駅

東栄町は、毎年11月から1月にかけて地域ごとに行われる「花祭」（国重要無形民俗文化財）が有名で、鬼が舞って神人和合、五穀豊穰、無病息災を祈る、鎌倉時代から受け継がれてきた伝統神事である。プラットホームに面した駅舎の外壁には、つり上がった目玉と牙が描かれ、屋根の突起2か所が角となっており、「花祭」に登場する鬼の面を型取った外観となっている。



(参考文献：飯田線百年ものがたり（株式会社新葉社）、東栄町ホームページ）